

徳島大学 留学生センターニュース

<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>

No.7

2006.11.1

特集 世界に開く6つの窓 ～海外拠点校

留学生センター長 永田俊彦

徳島大学は「世界に開かれた大学」となることを基本構想として掲げており、平成17年4月に徳島大学における国際化の基本理念である「国際化ポリシー」を策定しました。この中で、学術交流協定を締結している海外の36大学のうち特に交流実績が充実している6校を海外拠点校に選定して、教育研究の国際展開を量から質への転換を図ることを目指しています。

昨年度、海外拠点校選定に関して国際連携推進室で検討した結果、テキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンター、フロリダアトランティック大学、慶北大学校、ウエールズ大学スウォンジ校、武漢大学、ハルピン工業大学の6校を海外拠点校とすることが役員会で正式に承認されました。

そこで、今回これら海外拠点校6校を「世界に開く6つの窓」として紹介します。

テキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンター (アメリカ合衆国)

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 再生修復医歯学部門
顎口腔再建医学講座 口腔顎顔面矯正学分野 教授 森山 啓司



テキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンター (The University of Texas Health Science Center at Houston; 通称 テキサス大学ヒューストン校 UT-Houston) は、米国テキサス州ヒューストンの中心部にあり、かつて市内に点在していた複数の保健、医療関連の教育・研究施設を、テキサス大学 (テキサス州立) が統括運営する形で1972年に設立されました。現在では、医学部、歯学部、公衆衛生学部 (栄養学科を含む)、看護学部、健康情報科学部、生物医学大学院のほか、加齢センター、健康増進予防医学センター、公衆衛生EBMセンター、疾患予防分子医科学研究所、神経科学研究センター、社会公衆衛生センター、人類栄養センター、サイクロトロン研究施設、実験動物医学管理センターなどから構成されています。また同校の特筆すべき点は、バイラー医科大学やテキサス A&M 大学、世界的に名高い MD アンダーソン癌センターなどとともに、全米でも屈指の巨大なメディカルセンターを形成し、その中心的機関としての役割を担っていることです。

徳島大学とテキサス大学ヒューストン校との交流は、平成14年11月27日に齋藤史郎学長 (当時) が同校を訪問し、James T. Willerson 学長とともに大学間学術交流協定書に署名されたことに遡ります。それ以降、学生、研究者、事務職員をはじめとした幅広いレベルでの活発な交流が開始しました。現在までに研究者間の共同研究や訪問はもちろんのこと、事務職員を派遣して研修を行うプログラムも実施されました。さらに、平成16年度から歯学部間の学生交流が始まり、毎年継続的に学生の派遣や受け入れを行ってきています。また平成18年度からは、医学部の学生交流も同様に始まりました。このような学生レベルでの交流は、豊富な知識と国際感覚を備えた優秀な医師、歯科医師を育成することに役立つと期待されています。

徳島大学とテキサス大学ヒューストン校との絆が今後さらに深まり、両校のますますの発展に寄与するよう、引き続き皆様の暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

特集

世界に開く6つの窓 ~海外拠点校

フロリダアトランティック大学 (アメリカ合衆国)

大学院 工学研究科 蘆田 雄樹



私は2005年の8月からおよそ1年間、アメリカ、フロリダ州の Florida Atlantic University (FAU) で研究留学生として高分子材料を用いた新薬の基礎研究 (stillbestrol を用いた有機材料の合成と、特性の測定) を行ってきました。もともと高分子を用いた半導体を研究していたので全く未知の世界というわけではなかったのですが、生化学の分野は分からないことも多く戸惑ってばかりでした。しかし、アドバイスをしてくれる教授やドクターにも恵まれ、理想的な環境で研究ができたお陰で、論文も出すことができました。

アメリカで受けた衝撃は予想以上のものでした。アメリカ人、ブラジル人、

ハンガリー人、エクアドル人、インド人、中国人、韓国人といった国籍の人達と留学期間中親しくしていたのですが、彼らはみんなそれぞれの考えを貫いて生活をしており、アメリカは本当に多種多様な国の人達が作った社会なのだと思えました。アメリカでは自分らしさを出さ

ないと消えて無くなってしまふかのように感じました。

私は幸運にも、よい友人を作ることもでき、最終的にはその中のブラジル人の友人と半月ほどブラジルに旅行にも行くことが出来ました。

やはり、渡米した当初は全くと言っていいほど英語が話せず、何をしたらいいのかさえ分からない状態でした。何よりも最初は英語で会話ができないと話にならなかったのも、間違ってもいいからと、ひたすら喋りかけていました。そして、一人になったら教材を読んで新しいセンテンスを覚える、それを次の日どう使うか、最初の3ヶ月くらいはそればかり考えていたように思います。そんな中、初めて会話の中で笑いが取れた時は今でも忘れられないくらい嬉しかったです。そしてそれに付き合ってくれた友人



人達には本当に感謝していますし、知り合えた仲間と過ごした時間もとても楽しいものでした。

この留学を通じてたくさんものを得ましたが、特に行動力と柔軟性が養えたと思います。1年前の何かいい訳を探しては怠っていた自分とは今は明らかに違うと実感しています。

【留学のススメ】

アメリカに行ってみず、そののんびりとした生活と態度にびっくりすると思います。レストランのサービスにしても、最初は「なんてサービスが悪いんだ」と思いましたが、友人達とレストランに行くと、ウェイトレスが冗談を言い、気さくでフレンドリー、その時間を一緒に楽しもうとする感じでした。それが分かった時、こういうサービスの方法もあったのか！と目から鱗でした。これだけではなく数えきれないほどの体験をしました。

アメリカは日本とは全く違った価値観で生活しています。ぜひ、1年間行って、それを自分の肌で体感して来て下さい。僕は友人の言った言葉が好きです。EXPERIENCE IS EVERYTHING! 単純で、誰でも分かりそうですが、行動するのは意外と難しいものでした。行けば何とかなるものです、思い切って飛び出して下さい。



特集

世界に開く6つの窓 ~海外拠点校

慶北大学校 (大韓民国)

大学院 人間・自然環境研究科 チョンチャンミさん



今年、開校60周年を迎えた慶北大学は慶尚北道の大邱に位置する国立大学です。慶北大学には優秀な先生が多くて、真面目な学生も多いです。大学のキャンパスは広くて、緑の自然も多い、公園のような雰囲気です。

慶北大学では、いろんなイベントが楽しめます。毎年5月には「テドンジェ」という大学祭が大きく開かれ、カラオケ大会、演劇、コンサートなど、いろんなイベントに参加できます。また、10月には短大別(ごと)に体育大会が行われ、いい汗を流しながら、みんなと仲良くできます。

徳島大学と違うところは、まず、図書館の規模が大きくて大量の本を保有しているところです。韓国の大学の中では2番目に本が多いと言われます。また、図書館に自習する空間が多いです。

しかし、テスト期間になると朝から満席になるので、早めに行かないと席がなくなります。そのときは空いている教室を使ったりします。

慶北大学の授業の中で、一番人気の授業はスキーやゴルフ、水泳などのスポーツ関係の授業です。単位は1単位で少ないですが、授業は短くて、夏休みになるとスキーに行ったり、泳ぎに行ったりするので楽しいです。後、お勧めの授業は「結婚と家族関係」という共通の科目の授業です。この授業は結婚準備教育ともいえますが、結婚や家族というものをもう一度考えるようになります。

また、「映像で見るドイツ文化」という授業もお勧めです。ドイツの映画を見ながらその中のドイツの文化や生活習慣などを勉強します。慶北大学では履修登録がすべてインターネットで行われます。このような人気の授業は履修登録がスタートしてから数秒も経たないうちに満人になりますので素早く申し込んでください。

慶北大学に留学に行ったら、韓国語の上達のために韓国人の学生とたくさん交流をしたほうがいいと思います。日本語の上手な学生も多いのでなるべく韓国語を使うようにしたら韓国語の能力が上達すると思います。また、慶北大学では留学生のために韓国人のBuddy(チューター)を紹介してくれます。お互いにチェンジティーチングしながら勉強するのもいいと思います。

大学内のスポットは、イルチョンダム(噴水池)、ジドモツ(地図の形の池)、大講堂、ラプロードなどがあります。イルチョンダムやジドモツは慶北大学の代表的な池です。また、大講堂ではいろんな公演やイベント、コンサートが行われます。法学部の建物の辺りにあるラプロードはとても有名な所で、カップルがその道と一緒に歩いたら幸せになるという伝説があります。

慶北大学は夜も賑やかで特に図書館で夜遅くまで勉強する学生や大学の周りの店などで遊ぶ学生が多いです。夜はキャンパス内のバイク・車などに気をつけてください。

また、慶北大学ではいろんな情報がホームページから公開されるし、履修登録などはインターネット上で行われるので、コンピューターの使い方をしっかり覚えておいた方がいいと思います。また、常にホームページで情報やお知らせなどを確認したほうがいいと思います。



特集

世界に開く6つの窓 ～海外拠点校

ウェールズ大学スウォンジ校 (イギリス)

大阪大学大学院 国際公共政策研究科 博士前期課程2年 山本真太郎

(総合科学部 2005年3月卒業)

留学期間：2003年9月～2004年6月



私はUWSのDepartment of International Relations & Politicsに留学しました。国際関係専門の学部ということもあって、専門講義には深さと幅があり、日本では学ぶことのない最先端の議論に触れることもできました。また、バランスのとれた視点で批判を行うクリティカル・シンキングの重要性も改めて認識しました。教員も学生からの質問や要望に対して協力的ですし、図書館では最新の論文や新聞情報データベースを無料でダウンロードできる体制が整っていました。私は帰国後に大学院の受験を考えていましたが、本気で専門性を高めたいと思う学生にとって、このような環境での1年は非常に有意義かつ必要な時間となるはずでした。

しかし、英語には悩まされました。とくに少人数で行うゼミの際など、いくら流暢な英語を話すとはいえやはり学

部生なので、発言の内容や言葉遣いという面で議論の理解に苦しむことが多々ありました。英語力を高める方法は人それぞれですが、やはりインプットが重要だと思います。私は机に向かっていたことが多かったのですが、時間をかけて行うレポートや論文の作成が英語の表現や語彙を増やし、総合的な英語力を向上させる結果となりました。

生活は2階建ての学生寮で共同生活でした。食事は基本的に自炊で、洗濯は寮付属のコインランドリーになります。課外活動では合気道部に入り、多くの友人を作りました。ウェールズで日本の心を教わるという面白い経験をしただけでなく、帰国前には試験も受け6級に合格しました。

交換留学のメリットはその経済性にあります。たとえば私なら、200万円はかかったであろう費用が、奨学金による免除もあって80万円程度で済みました。学内選考により限られた学生のみとなりますが、交換留学を考え



ている学生は、計画を立て継続的な英語の勉強を行うことで、留学に対する自分の意思を確認することもできると思います。また、勉強を重ねることで英語力が高まれば奨学金にも近くなりますから、バイトをするよりも効率的でしょう。

現在、私は大学院を休学し、国際NGOのスタッフとしてパキスタンで地震復興支援に従事しています。スウォンジーで培った英語力と、不安ばかりが先立った留学を乗り越えた自信を国際協力の場でも生かし、将来の夢につなげていきたいと思っています。



特集

世界に開く6つの窓 ～海外拠点校

武漢大学 (中華人民共和国)

前総合科学部長 熊谷 正憲

帰国して街を歩いていると、武漢滞在中と同じくどこからか「先生、こんにちは」という元気な声が聞こえてきそうである。武漢大の朝8時の授業は、「トン・シュエーメン・ハオ（同学達好）！」と言う私に対して学生たちが大きく「ラオシー・ハオ（老師好）！」と答えるところから始まる。入学早々行われる1ヶ月の軍事訓練を受けた、向学心の強い日本語学科の学生たち（学部2年50人、3、4年各25人、大学院5人）に教員15人の中の唯一の日本人教員として平成17年4月から1年間（前後期各18回程度）主として日本文化を教えた。

武漢大の学生たちは熱心である。日本史や近代作家研究の授業で、与えられた課題に対して、日本のウェブから写真や図表を取り出し、パワーポイントで見事に発表する。発表を怠ったり、抜かしたりすることはまずない。4人から7、8人一緒の、冷暖房のない寮室で、寒さに震え、汗をたらしながら、よく準備をする。日本語、しかも早口の私の授業に対して当初、何回聴いても分かりませんと言っていた何人かの学生たちが1年の終わる頃には、そんなことを言ったりしてすみませんでしたと詫びてくれる。中学から高校と、朝6時から夜10時、11時の学校生活を乗り越え、「高考」という全国統一大学入学試験でいい成績（武漢大学は中国の大学ランキングで4～5位とのこと）を取ってきた学生たちの姿勢や実力があちこちにはっきり現れている。

中国にはアヘン戦争後の「屈辱」の歴史があり、また、「抗日戦争」を勝ち抜き建国し、現在までに成長した国家社会への「誇り」の歴史がある。西洋文化の研究者である私は日中関係の健全で深い構築に考えを向けつつ、意欲あふれる学生たちが豊かな伝統を踏まえて、日本語や日本文化を学びながら、持続可能な経済成長を図りつつも、経済成長のもたらす諸問題（格差拡大や環境、公共道徳の確立などの諸課題）の克服に寄与し、大成していくことを願わずにはおれない。充実した1年であった。

徳島の街で今日も、「先生、こんにちは」の音が聞こえてきそうである。

徳島の街で今日も、「先生、こんにちは」の音が聞こえてきそうである。



特集

世界に開く6つの窓 ～海外拠点校

哈爾濱工業大学 (中国)

徳島大学ソシオテクノサイエンス研究部 助手 リュウ チュン 劉 琮



私は、徳島大学と哈爾濱工業大学との間に締結した学術交流協定に基づき、平成13年交換留学生として、来日しました。今年3月、博士後期課程修了したから、望月先生研究室の助手になっております。徳島大学で留学の間に、学問的にも、文化的にもさまざまな交流を行いました。私は、徳島大学の先生たちと各国の友達のお蔭で、いろいろな国の生活習慣や考え方に接することによって、異なる価値観を学び、国際交流の重要性、物事に対する視野を広げ、変化、成長していくことであると再認識しました。なかでも友情には国境がないことを実感しています。これは、私の人生の貴重な体験だと思えます。将来に、母国に帰っても

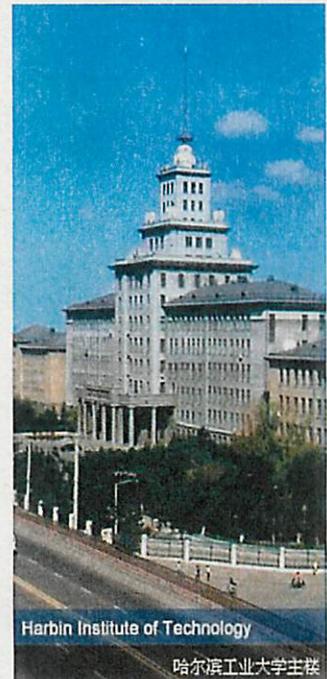
外国に行っても、私は、ずっと、徳島大学の留学生生活を懐かしむ気持ちを持って続けると思えます。徳島大学は、国際化の時代に対応して、協定大学の教員の相互訪問も含む共同研究や留学生の交換などの交流を活発に行っています。徳島大学の皆さんに私が出身した哈爾濱工業大学を紹介するためのお手伝いができるよう努力していきたいと考えています。

哈爾濱工業大学は、1920年に設立され、学生約57,000人、留学生約600人、教職員3,010人から成されています。中国でも名高い九つの重点大学の一つとして、理工系大学だけではなく、外国語学科も含む文系も併せ持つ総合大学で、教員の實力、学生の勉強レベル、環境施設が優れていることは全国に広く知られています。

哈爾濱工業大学の所在地は、中国北方に位置する哈爾濱市です。哈爾濱市は中国東北



地方で最も大きな政治、経済、文化の中心都市で「中国のヨーロッパ」と呼ばれています。美しい松花江や太陽島の夏は、多くの観光客を引きつけます。冬場の太陽島での氷祭りや雪祭りは、幻想的な氷雪の世界として中国国内外に知れわたる有名な観光スポットになっています。また、哈爾濱市は「標準語圏」にあるため、街でのショッピングや市民との交流でも正しい中国語を自然に身につけることができます。哈爾濱工業大学は、意欲ある日本人留学生を大歓迎しており、徳島大学の皆さんとの友好交流がさらに深まっていくことを期待しています。



Harbin Institute of Technology

哈尔滨工业大学主楼



海外留学用奨学金と派遣情報ホームページのお知らせ

【海外留学用奨学金情報】

◎ 学内奨学金

詳細は国際課事務室まで

	徳島大学国際教育研究交流資金	藤井大塚国際教育研究交流資金	海外派遣学生支援金 (学生後援会)
対 象	徳島大学（常三島地区）に在籍する日本人学生で、学部2年以上または大学院に在籍している者	徳島大学（蔵本地区）に在籍する日本人学生で、学部2年以上または大学院に在籍している者	徳島大学に在籍する日本人学生で28日以上海外に留学する予定があり、なおかつ学内外の奨学金を給付されていない者（休学して留学する場合は対象外）
定 員	4～6名		年間約30名まで
支 給 額	地域により異なる		一律3万円
支給期間	3ヶ月以上12ヶ月以内		一回のみ
締め切り	11月下旬		随時、出発前まで
備 考	交流協定校への留学を優先		

◎ 学外奨学金

詳細は国際課事務室まで

	日本学生支援機構 短期留学推進制度	公益信託 三木武夫国際育英基金
対 象	徳島大学に在籍する学生で、本学の協定校に交換留学生として留学する者（休学して留学する場合は対象外）	徳島県内在住の方で海外の大学（あるいは大学院）への留学を目指し、準備活動をしている方
定 員	若干名	若干名（平成17年度実績：1名）
支 給 額	月額8万円	100,000円程度
支給期間	3ヶ月以上12ヶ月以内	一回のみ
締め切り	11月下旬	5月上旬
		提出書類は国際課で入手

各種財団などの海外留学用奨学金については、以下の情報を参照してください。

★日本学生支援機構 留学奨学金情報

http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships.html

★日米教育委員会

アメリカ留学や一般的な海外留学で利用可能な奨学金情報やアメリカ留学フェアについての情報が入手できます。

<http://www.fulbright.jp/j4/menu.html>

【派遣留学情報ホームページのご案内】

今年度6月より、「派遣留学情報ホームページ」を運用しています。

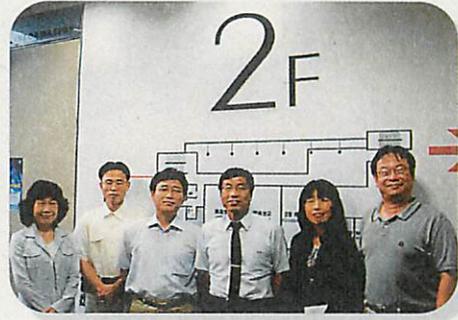
HOW TO ACCESS

徳島大学HP

留学生センターHP

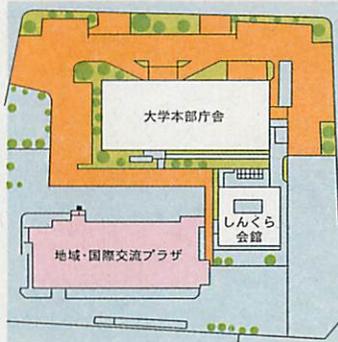
「海外留学」をクリック

留学生センターの窓口



A 新蔵キャンパス

新蔵地区には、留学生センターがあります。留学生の生活相談をはじめ、海外留学を考えている学生に対する相談、日本語教育に関する質問・相談に対応しています。また、留学生と地域交流の拠点として、留学生と日本語で交流する「国際交流サロン」も実施しています。

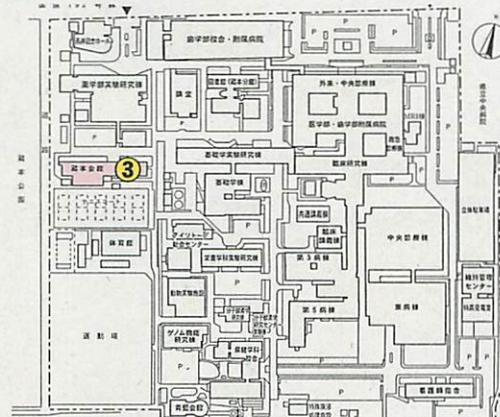


センター長			
教授 永田俊彦	088-656-7343	(内 83-5260)	nagata@dent.tokushima-u.ac.jp
副センター長			
教授 大石寧子 (日本語教育)	088-656-9875	(内 82-6212)	oishi@isc.tokushima-u.ac.jp
教員			
教授 三隅友子 (日本語教育)	088-656-7120	(内 82-6214)	misumi@isc.tokushima-u.ac.jp
教授 金 成海 (留学生生活指導相談)	088-656-7543	(内 82-6215)	kin@isc.tokushima-u.ac.jp
助教授 坂田 浩 (異文化交流)	088-656-7543	(内 82-6211)	kobayasi@isc.tokushima-u.ac.jp
助教授 上田崇仁 (日本語教育)	088-656-9872	(内 82-6213)	ueda@isc.tokushima-u.ac.jp

B 常三島キャンパス



C 蔵本キャンパス



①留学生センター教員控入室 / 088-656-7614 ②国際課事務室 / 088-656-7082 ③留学生支援室 / 088-656-7398 (担当: 永川)

編集後記

今号は海外拠点校の紹介です。いろいろなチャンスが実は身近にあるのです。センターも積極的にサポートしていきます。積極的に窓から顔を出してみませんか。見えなかったものがきっと目に入ってくると思います。

発行 徳島大学留学生センター
 住所 徳島市新蔵町2-24
 Tel. 088-656-7082 Fax. 088-656-9873
 E-mail: ryugakuk@jim.tokushima-u.ac.jp